



～美しい自然と温かい人たちに囲まれて、
本来の自分を取り戻せる島～

沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン

～安全・安心な受入をめざして～

令和3年4月1日更新



はじめに

沖縄への修学旅行につきまして、平素よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
毎年、数多くの学校に修学旅行先として本県を選んでいただいております。年間約2,400校、43万人の学生・生徒の皆さんに沖縄の自然・歴史・文化を通じた「学び」を体験していただいております。

沖縄県では、withコロナ時代の観光において、旅行者の皆様を安全・安心にお迎えするため「旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄Tour Style With コロナ」を策定し、感染予防・拡大防止に取り組んでいるところです。そのプランに基づいて、今回、修学旅行で沖縄をお越しになられる皆様方へ「安全・安心」にご旅行を催行していただくことを目的に「沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン ～安全・安心な受入をめざして～」を策定いたしました。

「修学旅行」は、学校生活の中でも参加する生徒の皆様にとって最も強い印象として残る極めて価値のある教育的体験学習であるとの認識のもと、観光業界一丸となって当ガイドラインに沿って修学旅行の受入を行いますので、修学旅行で本県を訪れる学生の皆様、またご父母、学校関係者、旅行社の皆様においては当ガイドラインを是非参考にいただければと存じます。

なお、当ガイドラインは随時「更新」を図って、より「安全・安心な訪問地づくり」に努めて参りますので、ご利用の際にはどうぞ最新版のご確認をよろしくお願い申し上げます。

おもてなしの気持ち「うとういむち」の心で皆さまを歓迎いたします。

沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー

【 目 次 】



1. 新型コロナウイルスについて

2. 沖縄県内の修学旅行受入対策

-沖縄Tour Style With コロナ

-旅行者専用相談センター沖縄（TACO）

（Traveler's Access Center Okinawa）

-その他のお問い合わせ先

3. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ

4. 新型コロナウイルス感染症かも…と思ったら

5. 県内修学旅行受入事業者の対策

- | | |
|-----------|-----------------|
| (1) 航空機 | (7) 観光施設 |
| (2) 旅客船 | (8) 教育旅行民泊 |
| (3) バス | (9) 平和ガイド（ガマ入壕） |
| (4) タクシー | (10) マリン体験 |
| (5) モノレール | (11) 飲食店 |
| (6) ホテル | (12) お土産店 |

6. よくある質問（FAQ）

7. 協力企業・参考



1. 新型コロナウイルスについて

【参考】厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

<おもな症状>

**息苦しさ（呼吸困難）、
強いだるさ（倦怠感）、
発熱、咳など比較的軽い風邪の症状が続く**



<感染経路>

飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

<感染対策>

咳エチケット・手洗い

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様におひとりおひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合には**マスク**を着用していただくよう、お願いします。

三密を避けましょう

集団感染の共通点は、特に「換気が悪く」「人が密に集まって過ごすような空間」「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。



出典：首相官邸HP

2. 沖縄県内の修学旅行受入対策

～安全・安心を目指して～

沖縄県では安全・安心な島を目指して、『沖縄Tour Style Withコロナ』を取りまとめ、有意義な修学旅行の場を提供すべく、様々な取り組みを行ってまいります

沖縄Tour Style With コロナ

1. 水際対策と発熱者・感染懸念者発生時の取り組み

旅行者専用相談センター沖縄

TACO (Traveler's Access Center Okinawa) の設置

2. 旅行者視点・旅行行程に沿った対策の整理

【旅前(タビマエ)】(居住地、那覇空港)

【旅中(タビナカ)】(観光施設、移動時)

【旅後(タビアト)】(那覇空港、居住地)

繋げることにより切れ目のない対策の実施

3. 情報の発信・伝達・収集

【情報発信】旅行者への事前告知・県内感染状況の情報発信

【情報伝達】観光関連団体への感染懸念者の情報伝達と共有

【情報収集】沖縄から帰省した旅行者の健康状態の情報収集
など

4. 各主体の役割の整理

Withコロナ時代の旅行者の受入にあたり行政、観光関連団体・事業者の他、旅行者としての観光客、県民の役割の整理

旅行者専用相談センター沖縄 (TACO) (Traveler's Access Center Okinawa)

電話番号：098-840-1677

(令和3年1月1日より：8:00～21:00 年中無休)

※変更の可能性があります。

※台風発生時は、時間短縮や臨時的に業務停止となる場合もございます。

1. 発熱者対応 (空港)

- ・サーモグラフィー等連携
(発熱感知連絡受信)
- ・健康確認等への協力依頼・誘導

3. 感染懸念者サポート

- ・検査実施機関との調整等

2. 旅行中のコールセンター機能

- ・健康相談等

4. 情報収集・伝達・発信

- ・旅行業者との連携等

その他のお問い合わせ先

修学旅行前の質問や相談

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

教育旅行チーム

098-859-6129

(平日9:00～17:00)

コロナウイルス感染症に関するお問い合わせやご相談

新型コロナウイルス感染症 相談窓口

コールセンター

098-866-2129

(24時間受付・年中無休)

おきなわ修学旅行ナビ

旅行会社や教職員のための修学旅行専門サイト



おきなわ修学旅行



沖縄県



OCVB

3. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、修学旅行で訪れる児童生徒のみなさまや保護者、学校関係者のみなさまにおかれましても、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願い致します。

タビマエ 旅 前

生徒	教職員	保護者
- 健康観察の徹底 - 体温、体調の報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底	- 健康観察の徹底 体温、体調報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底	- 健康観察の徹底 体温、体調報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底
	- 児童生徒の健康観察 - 保護者より、児童生徒の健康上留意することのヒアリング (食物アレルギーや既往歴の事前調査) - 児童生徒への旅行中の感染防止対策の事前指導 感染予防の行動手洗や咳エチケット、乗り物乗車中や食事中、大浴場利用中の会話を控える等	- 児童生徒の健康上必要なものの準備 (薬など) - 学校へ児童生徒の健康上留意することの報告 (食物アレルギーや既往歴の事前調査)

タビナカ 旅 中

生徒	教職員	保護者
- 朝・夕の定期的な検温 - 手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち(1日1枚)として共用はしない	- 朝・夕の定期的な検温 - 手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち(1日1枚)として、共用はしない - 体調不良者発生などの場合の特段の配慮 - 感染防止対策徹底の生徒へのご指導	いつでも緊急連絡に対応できるよう待機

タビアト 旅 後

生徒	教職員	保護者
旅行終了後の健康観察 参加者ご本人や同居のご家族等も含めた健康状態の経過観察を、実施後の一定期間(目安として2週間程度)行うようお願い致します		

参考：旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き(第4版)

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら① (出発前、那覇空港到着時)

※4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

出発前 編

出発までに以下の症状が、、、
発熱、
息苦しさ（呼吸困難）、
強いだるさ（倦怠感）など
比較的軽い風邪の症状が続く

ある

旅行参加の自粛
医療機関へ連絡する

ない

体調管理に
気をつけながら
旅行に参加する



沖縄到着時（那覇空港にて） 編

那覇空港到着口に設置のサーモグラフィーで発熱の感知

発熱あり
(37.5℃以上)

(空港施設内)
旅行者専用相談センター沖縄 (TACO) にて対応
検温、常駐看護師による問診等

相談

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)

医師等確認

那覇空港にてだ液検体を採取、市内の検査機関で検査

移動

検査結果の連絡を待つ
(療養・密回避等の行動)
※検査結果が出るのは、
原則翌日以降となります。

TACOより
検査結果の連絡

陽性

入院または軽症者療養施設へ
沖縄県コロナ対策本部(沖縄県保健医療部)
からの連絡・指示を待つ

陰性

体調管理に
気をつけながら旅程に戻る



4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら②（離島空港、タビナカにて）

※4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。
予めご了承ください。

離島空港（※4空港）編

空港到着口に設置のサーモグラフィーで発熱の感知

発熱あり
(37.5℃以上)

発熱なし

（空港施設内）
旅行者専用相談センター沖縄（TACO）にて対応
病院受診の推奨等

体調管理に
気をつけ
旅程に戻る

承諾・移送

医療機関受診

医師等判断

PCR検査または抗原検査

宿泊施設へ

休養・検査結果の連絡を待つ
※検査結果が出るまで、
数時間かかる場合があります

検査結果の
連絡

陽性

陰性

陽性

陰性

入院
または
軽症者
療養施設へ

体調管理に
気をつけながら
旅程に戻る

入院
または
軽症者
療養施設へ

体調管理に
気をつけながら
旅程に戻る

※当フローにおける離島空港は、
宮古空港、新石垣空港、下地島空港、久米島空港

タビナカ（修学旅行中）編

旅行中
各事業所のガイドラインにて対応 ※体調管理・検温（適時）

発熱あり
(37.5℃以上)

旅行者専用相談センター沖縄（TACO）

（TACO受付時間外は 新型コロナウイルス感染症 相談窓口 コールセンター）へ連絡
旅行者からの健康相談を受け、電話による問診を行う

感染リスク高い

感染リスク低い

新型コロナウイルス感染症 相談窓口
コールセンター案内

服薬や健康観察等に係る助言

承諾

新型コロナウイルス感染症 相談窓口
コールセンター による医療機関紹介

移動

医療機関受診

医師等判断

PCR検査または抗原検査

移動

宿泊施設等で待機
検査結果の連絡を待つ

検査結果の
連絡

陽性

陰性

入院
または
軽症者療養施設へ

体調管理に
気をつけながら
旅程に戻る

陽性

陰性

入院
または
軽症者療養施設へ

体調管理に
気をつけながら
旅程に戻る

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら③ (那覇空港出発時)

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄出発時（那覇空港にて） 編

那覇空港保安検査場入口に設置の サーモグラフィーで発熱の感知

発熱あり
(37.5℃以上)

※離島空港には保安検査場入口にサーモグラフィの設置無し

航空会社にて
搭乗可否の判断

搭乗可

搭乗

搭乗不可

(空港施設内) 旅行者専用相談センター沖縄 (TACO) にて対応
検温、常駐看護師による問診等

相談

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)

医師等確認

那覇空港にてだ液検体を採取、市内の検査機関で検査

移動

検査結果の連絡を待つ
(療養・密回避等の行動)
※検査結果が出るのは、
原則翌日以降となります。

TACOより
検査結果の連絡

陽性

入院または軽症者療養施設へ
沖縄県コロナ対策本部(沖縄県保健医療部)
からの連絡・指示を待つ

陰性

体調管理に
気をつけながら旅程に戻る



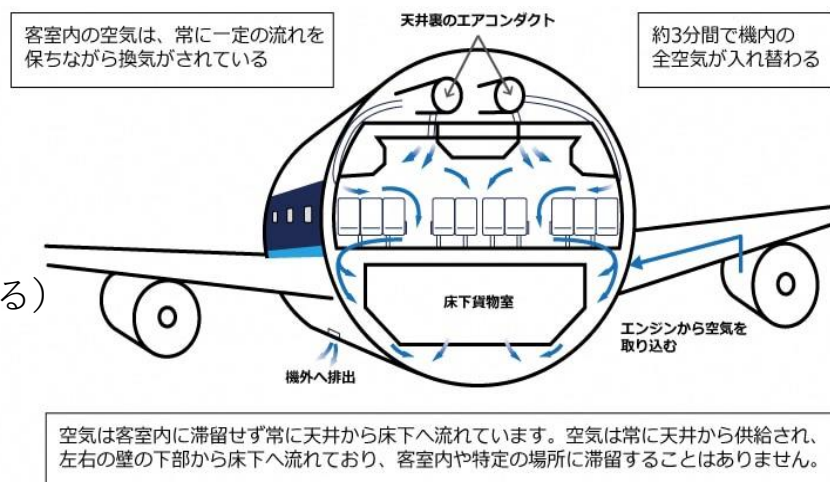
※時間に余裕を持って搭乗手続きを行うために、
空港へ出発する前の検温及び体調確認を
お勧めします。



5. 県内修学旅行受入事業者の対策①

(1) 航空機

- 保安検査場入口でのサーモカメラによる検温
(※一部空港にて実施)
- 機内の換気(飛行中に機内の全空気が**約3分**で常時入れ替わる)
- 機内での客室乗務員のマスク・手袋着用
- アルコールシートの提供
- お客様へのマスク着用要請等の実施



(※提供 全日本空輸株式会社)

参考ガイドライン・航空会社各社の取組

- 航空分野における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン (定期航空協会)
<http://teikokyo.gr.jp/pressrelease/483/#section-1>
- 全日空: <https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200502/>
- 日本航空: <https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/flysafe/protection-measures/jal/index.html>
- スカイマーク: https://www.skymark.co.jp/ja/news/special/dom_cov_csinfo01.html?cp=topsub1covid19

記載の取り組みは一例のため、詳細につきましては、各航空会社のHPにてご確認ください

5.県内修学旅行受入事業者の対策②

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(2) 船舶（ターミナルにおける感染予防策など）

- サーモカメラによる、乗客の検温を実施（泊ふ頭旅客ターミナルのみ）
37.5度以上の発熱が検知された場合は、保健所等へ連絡するよう案内
- ターミナル及び旅客船内の換気（換気設備の適切な運転、可能な際の窓の開放等）
- 高頻度接触部位（ドアノブ、手すり等）の定期的な清拭消毒

参考ガイドライン

- 旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策 ガイドライン（一般社団法人日本旅客船協会）
https://www.jships.or.jp/news_detail.php?id=7554
- 旅客ターミナル（那覇・泊・新港）における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（那覇港管理組合）
<https://nahaport.jp/>
<https://nahaport.jp/userfiles/files/autoupload/2020/08/1597985689.pdf>

(3) バス

- 乗務員の体調管理・マスクの着用
（乗務前点呼時の体温、風邪症状の有無等の報告及び確認、健康チェックシート）
- 消毒液の常備
- エアコンによる外気換気モード及びバス待機中の乗降口や窓の開放による車内換気の徹底
※熱中症にも留意し適宜組み合わせで対応
- ガイドのアナウンスは可能な限り前方を向いて行う
- 出庫前、待機中、帰庫後の定期的な消毒剤の噴霧または消毒剤による清拭
- 手荷物の受け渡し等におけるマスク手袋の着用
- 大型観光バスは概ね**5分～7分程度**で車内の空気を入れ替えられる ※車種によって異なります

参考ガイドライン

- 貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（貸切バス旅行連絡会、一般社団法人沖縄県バス協会）
<https://www.bus-okinawa.or.jp/>
https://www.bus-okinawa.or.jp/pdf/guideline_3.pdf

5.県内修学旅行受入事業者の対策③

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(4) タクシー

- 事業所における感染防止対策（代表者・全従業員対象）
- 運行管理者による感染防止対策（出庫・帰庫の点呼時）
- 乗務員の感染防止対策（職場・自宅他）
- 感染が疑われる者・感染者が発生した場合の感染防止対策等

参考ガイドライン

- ハイヤー・タクシー事業における新型コロナウイルス感染防止マニュアル
（一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会） <http://www.oki-taxi.or.jp/>



(5) モノレール

- 消毒液の設置
- 券売機、改札機、手すり等の定期的な消毒
- 車両は、薬剤による定期的な消毒および換気のため客室窓を開けて運転を実施
- 全従業員に対して、マスク着用及び検温の実施、うがい・手洗いの徹底
- 駅および車両内にて、ポスターや放送による感染症予防対策の啓発

参考ガイドライン

- 鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン（鉄道連絡会）
<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2020/15261.html>
- ゆいレール（沖縄都市モノレール）：<https://www.yui-rail.co.jp/important/3955/>

5.県内修学旅行受入事業者の対策④

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(6)ホテル

- 施設及び客室の換気、定期的な消毒。
- 宿泊客へのマスク着用・手洗い・消毒・体温測定・健康チェックの要請
- 従業員のマスク着用・手洗い・消毒・体温測定・健康チェックの実施
- チェックイン時は代表者がまとめてチェックインを行う。

参加者は一つの場所に固まらず、分散して待機を行うよう要請。

- ロビー、大浴場、食事処・レストラン等、多くの宿泊客が同時に利用する場所での感染防止。
- ビュッフェ方式での徹底した感染防止対策の実施。または、セットメニューでの提供に代えることを検討。

参考ガイドライン

➤宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合）

<http://www.oah-net.or.jp/news/index.cgi?mode=list&pline=0>

➤ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本ホテル協会）

<https://www.j-hotel.or.jp/association/pressroom/association/66801>



(7) 観光施設

- 来訪者の入店時等における手指消毒・咳エチケット・手洗い
- 従業員のマスク・フェースガード等の着用・手指の消毒・咳エチケット・手洗いの徹底
- 来園者・関係業務提携機関へのマスク・フェースガード等の着用を求め安心安全確保の共有する
- 出入口等を基本とし手指消毒液を設置
- 会計場所等で、床・待機場所等の目印を備え、列間隔を確保するよう努める。

参考ガイドライン

➤観光施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（一般社団法人美ら島観光施設協会）

<http://churaoki.com/news/20200618.html>

5.県内修学旅行受入事業者の対策⑤

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(8) 教育旅行民泊

- 受入れ民家と生徒及び生徒同士の接触をできるだけ避け、対人距離を確保する。
- 入口及び民家内の手指の消毒液の設置。
- 食事、入浴、就寝以外は可能な限りマスクの着用。
- 民家及び客室、車の換気。
- 民家の定期的な消毒。
- 生徒への定期的な手洗い・消毒の要請。
- 民家、生徒の毎日の体温測定、健康チェック。朝は起床後すぐ、夜は夕食後に行く。
- 民家での体験活動はできるだけ外で行うものとする。
- 民家一軒ごとの受入人員は4～6名。**※受入人員については各民泊事業者により異なります。**
- 他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする。
- 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄および消毒する、または使い捨てにするなど特段の対応を図る。

参考ガイドライン ※その他各民泊事業者もガイドラインを発行しています。詳細は各事業者のHPなどをご確認ください。

➤有限会社 TM.Planning <http://www.tamarenta.jp/news/>



5.県内修学旅行受入事業者の対策⑥

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(9)平和ガイド（ガマ入壕）

- 講師やガイドは実施日ごとに体調、手指消毒、検温等を記録する。
- 講師・ガイドはフェイスシールド、マウスシールドまたはマスクを着用する。生徒はマスクを着用する。
- 講話会場は三密対策のとられた会場であること。
- ガマに入壕時はガマの中での滞在時間を短くし、外で説明する

参考ガイドライン

➤「沖縄県観光ボランティア友の会」三密対策指針（沖縄県観光ボランティアガイド友の会）

※その他フィールドワークや平和関連施設での平和学習実施など各事業者発行のガイドラインを参考ください。



(10)マリン体験

- インストラクター（指導員）および 陸上の健康管理を徹底。
- 事前説明（ブリーフィング）時にはマスクやマウスシールドを着用
- 器材の洗浄・消毒・除菌を毎回徹底して行う。
- 体験学習当日の朝、健康調査表（問診）の提出のお願い
- 朝の検温、うがい手洗い、飛沫感染対策（マスク装着）の協力のお願い

参考ガイドライン

➤ORIC沖縄県海洋レジャー事業協同組合

<https://www.oric.jp/?p=449>

※各事業者発行のガイドラインを参考ください。



5.県内修学旅行受入事業者の対策⑦

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(11) 飲食店

- テーブルは、飛沫感染予防のためにパーティションで区切るか、できるだけ2m(最低1m)以上の間隔を空けて横並びで座れるように配置を工夫し、カウンター席は密着しないように適度なスペースを空ける
- 真正面の配置を避けるか、またはテーブル上に区切りのパーティション(アクリル板等)を設けるなど工夫する
- 大皿は避けて、料理は個々に提供する、従業員等が取り分けるなど工夫する
- お客様同士のグラス等の回し飲みは避けるよう、業態に応じ、掲示等により注意喚起する

参考ガイドライン

＞飲食業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県飲食業生活衛生同業組合）

<https://shima-gourmet.jp/>



(12) お土産店

- 掲示、アナウンスの実施などにより店舗内の対人距離の確保を促す
- 買い物かご、買い物カートのハンドル部分、扉の取っ手など、手の触れる機会の多い箇所・機材等の定期的な消毒
- レジにおいてコイントレーでの現金受渡を励行
- 滞在時間短縮の呼びかけ

参考ガイドライン

＞小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本小売業協会等12団体）

<https://japan-retail.or.jp/>



Umaimon Hunter



6.よくある質問（FAQ）①

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄修学旅行実施における新型コロナウイルス感染症対策について、
保護者、学校関係者のみなさまからよくある質問を下記にまとめました。
修学旅行中におきましては、まずは同行される学校の先生、旅行会社、看護師のみなさまで対応を検討された上で
下記ご確認いただければと思います。

●修学旅行に関する問い合わせ先について

Q1.修学旅行前の事前相談についてはどこに連絡すればいいですか？

A1. 沖縄での修学旅行については下記にお問い合わせください。※行程などについては旅行社へお問い合わせください。

●（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課 教育旅行チーム
TEL：098-859-6129 （対応時間 9：00～17：00 ※土日・祝祭日を除く）

●（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所 教育旅行チーム
TEL：03-5220-5311 （対応時間 9：30～17：00 ※土日・祝祭日を除く）

Q2.修学旅行中に体調が悪くなった、また発熱者が出た場合、どこに連絡すればいいですか？

A2. 最寄りの医療機関へご相談、受診してください。
また、新型コロナウイルス感染が心配な場合は下記にご相談ください。

●旅行者専用相談センター沖縄（TACO）（以下「TACO」※Traveler's Access Center Okinawa）
TEL：098-840-1677 （対応時間8：00～21：00 ※変更の可能性あります）

●新型コロナウイルス感染症 相談窓口（コールセンター）※TACO対応可能時間外の対応
TEL：098-866-2129 （24時間受付・年中無休）
※旅行者専用相談センター対応時間外（21：00～8：00）や
新型コロナウイルス感染症に関する一般的な問い合わせに対しては、コールセンターへお問合せください。

6.よくある質問（FAQ）②

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q3. PCR検査はすぐに受けられますか？

- A3. PCR検査が必要と認められた場合は検査を受けることができます。
(但し医療機関の状況によってはすぐに受けられないこともあります)

発熱等、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合はTACO（TEL：098-840-1677）に、
対応時間外であればコールセンター（TEL：098-866-2129）にご連絡ください。

TACO常駐の看護師が症状に応じた健康相談に対応します。
必要な場合はコールセンターが案内され、検査を行うことができる医療機関の紹介を受けることができます。

Q4. 空港での到着・出発時の確認体制および検査体制はどのようになっていますか？

- A4. 那覇空港においては、サーモグラフィー及び非接触型体温計による検温の結果、
37.5度以上の発熱のある旅行者については、同意を得た上でTACO常駐の看護師による問診を行います。
必要性が認められれば、空港にて唾液検体を採取し、市内の検査機関で検査（無料）を実施します。
なお、検査結果が出るのは原則翌日以降です。
宮古空港、新石垣空港、下地島空港、久米島空港においては、サーモグラフィー及び非接触型体温計による検温の結果、
37.5度以上の発熱のある旅行者については、TACO分室のスタッフが医療機関での受診及び検査を推奨しており、同意を得た
上で医療機関への移送を行い、PCR検査等の実施に繋がります。

Q5. 発熱者がPCR検査を受ける医療機関までの移動方法はどのように行えばいいですか？ また、それに伴う費用負担はどのようなのでしょうか？

- A5. 移動手段は各自でご手配頂いております。また、沖縄県では一部移動に係る支援を下記のとおり行っております。

発熱のみ：学校側が三密を避けた交通手段を手配（タクシー、レンタカー等）、費用は学校側負担。
濃厚接触者：学校側が三密を避けた交通手段を手配（タクシー、レンタカー等）、費用は沖縄県負担（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP参考
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyuujisiennjigyou.html>）

6.よくある質問（FAQ）③

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q6. PCR検査にかかる費用はどのようなのでしょうか？

- A6. 管轄保健所やコールセンターからの案内による医療機関でのPCR検査自体は無料となります。
（通常の保険における自己負担分が公費負担となります。）
ただし、受診料は受診者負担となります。（通常のとおり保険適用分以外が本人負担となります。）

Q7.検査終了後、結果が出るまでの間、検査を受けた生徒はどのように隔離したらよいのでしょうか？ また、それに伴う費用負担はどのようなのでしょうか？

- A7. 医療機関等の指示に従い、原則、利用予定の宿泊施設で休養し、隔離等については宿泊施設（宿泊業界）のガイドラインに沿って対応することとなっています。
ただし何らかの理由により、利用予定の宿泊施設が利用できない場合は、本人費用負担において、同行される学校の先生、旅行社の方などが対応可能な宿泊施設を手配することとなります。
なお、保健所から濃厚接触者と特定されている生徒に関しては、隔離に係る宿泊費（ただし、延泊等の新たに発生した費用のみ）が沖縄県負担となる場合があります（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP参考
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkkyuujisiennjigyou.html>）

6.よくある質問（FAQ）④

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q8.新型コロナウイルス陽性と判定された生徒は以降どういった処置が求められるのでしょうか？
また、それに伴う費用負担はどうなるのでしょうか？

A8. 感染が確認された地域での入院・療養となるため、帰省することはできません。
沖縄に滞在中に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、感染症法により入院勧告対象となるため、沖縄県民と同様に、観光客も指定医療機関・指定施設等での入院・療養（軽症者の場合は宿泊施設での療養も可）が必要となります。
また、新型コロナウイルスは「指定感染症」に位置付けられており、管轄保健所等からの指示による医療機関でのPCR検査自体は無料となります（通常の保険における自己負担分が公費負担となります）。
ただし、受診料は受診者負担となります。（通常のとおり保険適用分以外が本人負担となります。）

厚生労働省発表の「退院や療養生活を終了する際の判断基準」は、下記の通りとなります。

<医療機関に入院した場合の退院基準>

1. 症状がある方の場合

- 1) 発熱等の症状が出現してから10日間が経過し、かつ、発熱などの症状が軽快してから、72時間が経過すれば、PCR等検査（※）を経ずに退院が可能です。
- 2) また、10日間が経過していない場合でも、症状が軽快して24時間後にPCR等検査を実施（1回目）し、陰性が確認されたら、1回目の検体採取後24時間後に再度PCR等検査を行い（2回目）、2回連続で陰性が確認された場合にも退院が可能です。
なお、2)のPCR等検査で陽性が確認された場合は、再度PCR等検査を2回行います。

2. 症状のない方（無症状病原体保有者）の場合

- 1) 検査のための検体をとった日から10日間を経過すれば、PCR等検査を経ずに退院が可能です。
- 2) 検査のための検体をとった日から6日間が経過し、PCR等検査を実施（1回目）し、陰性が確認されたら、1回目の検体採取後24時間後に再度PCR等検査を行い（2回目）、2回連続で陰性が確認された場合にも退院が可能です。
なお、2)のPCR等検査で陽性が確認された場合は、再度PCR等検査を2回行います。

■新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）「5. 症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について」の「[問4 陽性になって入院や療養をした場合、どうしたら元の生活に戻れますか。](#)」への回答をご確認ください。

6.よくある質問（FAQ）⑤

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q9. PCR検査費用、陽性者の入院費用は、現地窓口で支払いが必要になりますか？

A9. 初診料等の自己負担分については、別途窓口での支払いが生じます。
(検査費用、検査結果が陽性となった場合の入院費用等の公費負担分については、現地窓口での支払いは必要ありません。)

Q10. PCR検査の結果が陰性であった生徒はどうなるのでしょうか？

A.10 管轄保健所又は医療機関等の指示に従ってください。

Q11. PCR検査者の検査結果が出ていない中において、検査をしていない他の生徒は、旅行行程を続けていいのでしょうか？

A.11 管轄保健所又は医療機関等の指示に従ってください。
旅行中は、必要な感染防止対策（こまめな手指消毒、咳エチケット等）を心がけてください。
また少しでも体調に異変を感じたら、無理をせず、近くの医療機関に相談・受診を行ってください。
新型コロナウイルス感染が心配な場合は、TACO（TEL：098-840-1677）にご相談ください。

●修学旅行中の濃厚接触者について

Q12.陽性者が発生した場合、濃厚接触者とそうでない人の判断（線引き）は誰が行うのでしょうか？

A12. 管轄保健所にて判断します。
基本的には必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

Q13.濃厚接触者にはこういった処置が求められるのでしょうか？

A13. 管轄保健所等の指示に従ってください。
基本的には、速やかにPCR検査等を実施することとし、検査結果が陰性と判明後も感染した方と接触したとされる日から14日間は不要不急の外出を控えるなどの指示があります。

6.よくある質問（FAQ）⑥

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の濃厚接触者について

Q14.濃厚接触者は全員PCR検査を受けられるのでしょうか？

A14. 管轄保健所又は医療機関等の問診の結果、緊急性・必要性が認められればPCR検査を受けることとなります。

Q15.濃厚接触者でPCR検査を受けた場合の費用はどうなりますか？（受診費用、検査費用、検査機関への交通費）など

A15. 濃厚接触者がPCR検査を受けた場合、検査費用は公費負担となります（通常の保険における自己負担分が公費負担となります）。
受診費用は通常のとおり保険適用分以外は本人負担となります。
検査機関への生徒の交通費及び帰途の交通費については沖縄県負担となります（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP参考
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyyuujisiennjigyoyou.html>）

Q16.濃厚接触者でPCR検査を受けた場合、検査結果がでるまでの待機場所がありますか？ また、その費用はどうなるのでしょうか？（宿泊費用、その場所までの交通費）

A16. 沖縄県において待機場所の用意はありません。原則、利用予定の宿泊施設で休養し、隔離等については宿泊施設（宿泊業界）のガイドラインに沿って対応することとなっています。
ただし、延泊等の新たに発生した費用については沖縄県負担となる場合があります（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP参考
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyyuujisiennjigyoyou.html>）

Q17.もしPCR検査が不要となった場合、どのような扱いになるのでしょうか。隔離になりますか？

A17. 管轄保健所又は指定医療機関等の指示に従ってください。

6.よくある質問（FAQ）⑦

※ 4月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●新型コロナウイルスに関連する沖縄県内の体制について

Q18.軽症者用の宿泊施設はありますか？

A18. あります。検査結果で陽性となった場合、医療機関等への入院又は軽症者用の宿泊施設での療養となります。

Q19.修学旅行中に陽性反応が出た生徒が入院または軽症者受入ホテルにて待機となった場合、保護者が沖縄へ来る費用は保険で賄えるのでしょうか？

A19. 学校旅行総合保険など各種保険によって違いますので、詳しくはご利用の旅行会社や保険会社へお問い合わせください。

Q20.生徒が入院または軽症者受入ホテルでの長期滞在が必要になった場合、保護者または引率教員は生徒に会えるのでしょうか？ 会えない場合、病院かホテルで生徒は一人で滞在することになるのでしょうか？

A20. 基本的には感染防止のため会えません。特別な理由等がある場合は病院(施設)へお問い合わせ下さい。

7.協力企業・参考



【協力企業】

全日本空輸株式会社

日本航空株式会社

日本トランスオーシャン航空株式会社

スカイマーク株式会社

那霸港管理組合

一般社団法人沖縄県バス協会

一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会

沖縄都市モノレール株式会社

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

一般社団法人沖縄県ホテル協会

沖縄県観光ボランティアガイド友の会

一般社団法人美ら島観光施設協会

ORIC沖縄県海洋レジャー事業協同組合

沖縄県飲食業生活衛生同業組合

有限会社 TM.Planning (民泊事業者)

【参考】

旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第4版）

(2021年1月29日公表／一般社団法人日本旅行業協会)

<http://www.jata-net.or.jp/>

旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第2版）

(2020年7月1日公表／一般社団法人日本旅行業協会・一般社団法人全国旅行業協会)

http://www.anta.or.jp/law/pdf/covid-19_guideline.pdf



沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン
～安全・安心な受入をめざして～

令和2年 9月18日 発行
令和2年 9月24日 更新
令和2年10月 7日 更新
令和2年10月16日 更新
令和3年 1月 4日 更新
令和3年 2月 1日 更新
令和3年 4月 1日 更新